



## 【台湾における日本産牛肉市場】

近年、台湾では和牛が大変人気となっております。農林水産省のデータによると、2017年に日本産牛肉の輸入が解禁されたことをきっかけに、その輸入量は同年9月～12月の4か月で211トン、2018年は628トンと増加し、2020年には815トンまで成長。昨今の焼肉、和牛ブームの中で2021年は1000トンを超えるものと見られています。

小売店では圧倒的にオーストラリア産が多いものの、日本産の中では鹿児島県産が多いようです。北海道産はまだあまり見かけませんが、飲食店やECなどでの流通量は増えてきているようです。

### 小売店における牛肉販売状況

店舗名	美福	City Super	微風	Donki
店舗数	25	7	10	2
北海道産牛肉 台湾元/100g	販売なし	販売なし	販売なし	販売なし
日本産牛肉 台湾元/100g	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆宮崎牛サーロイン 630元(約2520円)</li> <li>◆鹿児島牛肩ロース 450元(約1800円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆鹿児島牛サーロイン 750元(約3000円)</li> <li>◆鹿児島牛ヒレ 749元(約2990円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆近江牛サーロイン 1370元(約5480円)</li> <li>◆鹿児島牛ヒレ 1000元(約4000円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆鹿児島牛サーロイン 649元(約2596円)</li> <li>◆鹿児島牛ヒレ 749元(約2996円)</li> </ul>
他国産牛肉 台湾元/100g	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆オーストラリア和牛ヒレ 450元(約1800円)</li> <li>◆アメリカ産牛肉火鍋用 230元(約920円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆オーストラリア和ヒレ 420元(約1680円)</li> <li>◆オーストラリア和牛 サーロイン 790元(約3160円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆オーストラリア和牛火鍋 280元(約1120円)</li> <li>◆オーストラリア和牛 サーロイン 800元(約3200円)</li> </ul>	販売なし



## 【代表的な日本産牛肉輸入業者】

### ①吉力家

- 台湾を代表する肉輸入卸。北海道白老和牛と提携し、牧場から空輸で直送された製品は、トレーサビリティ出生証明書、牛の出生番号等の飼育環境も逐次提供しながら、台湾における白老和牛ブランドの拡大を目指す。

### ②美福 Mayfull

- 現在、A5ブランド牛に特化しており、直営の高級スーパーマーケットや台北近郊の飲食店へ販売している。

### ③裕毛屋

- 台中、彰化の2拠点でこだわりの日本産品を販売。日本産ブランド牛の直接輸入も手掛ける。

### ④楽軒グループ

- 台湾を代表する高級和牛焼肉、しゃぶしゃぶレストランを12店舗展開。
- 台北101に隣接するランドマークタワー47階の和牛焼肉懐石店が有名で、松阪牛を「焼肉+和牛寿司+懐石」の3種類のメニューで独自展開するなど、台湾和牛ブームを牽引する有力店の一つである。

### ⑤乾杯グループ

- 現在は国内にレストラン29店舗を有する一大外食グループ。
- 比較的リーズナブルな価格で提供する「乾杯Bar」から、百貨店等に店舗を構え、鹿児島黒毛和牛のしゃぶしゃぶを展開する「黒毛屋本家」まで幅広い層に和牛を提供し、近年の焼肉、ステーキの人気の高まりと共に更に成長が期待されている。

### ⑥和牛老闆國際

- 日本から牛肉、水産物、食品を輸入する貿易会社。親会社（大手卸売業者）を通して飲食店へ、またグループ会社のECサイトやライブ販売を通して一般消費者へも販売する。
- 近年は岩手県産牛及び鳥取県産牛と代理店契約を結ぶなど、特に牛肉の取扱いに注力している。

## 【販路開拓のポイント及びアドバイス】

これまでA5ランク和牛を中心に販売してきた和牛老闆國際（上記⑥）へのヒアリングによると、最近では飲食店側からより安価な製品へのニーズが高まり、交雑牛（F1）を求める声が出てきているとのこと。今後はA5ランクだけでなく、交雑牛（F1）でB5～B4ランクの牛肉の輸入を検討したく、価格競争力がある製品を紹介して欲しいとの要望がありました。

なお、現在は生後30ヶ月以内の牛のみ輸入可能となっており、輸出する際の必要書類は以下の通りです。マッチング希望及びご相談等はぜひ当アドバイザー事業へお申し込みください。

<必要書類> ※生後30ヶ月以内の牛のみ輸入可

- ・衛生証明書
- ・原産地証明書
- ・製造証明書
- ・製造工程説明書



Facebookライブでは、サロマ牛が販売された